

神谷かずとし後援会広報誌

— 第7号 —

# 大地

daichi

発行所 神谷かずとし後援会  
〒471-0841 豊田市深田町1丁目81番地  
TEL (0565)77-2001 FAX (0565)77-7304  
発行責任者 奥田清仁  
発行日 令和4年8月27日



## ごあいさつ

残暑お見舞い申し上げます。日頃より皆様方の温かいご支援ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の蔓延が始まり早2年半、未だ終息する気配はなく第6波、第7波と感染者数は倍々となっており、この夏の地域イベントを余儀なく急遽中止の決断をされた自治区も多くありました。いったい誰がこのように感染拡大が続くと予想できたでしょうか。

この半年、思いもよらないことが多く起こりました。2月のロシア軍によるウクライナ侵攻は未だ続いており、我が国の安全保障も根底から見直しが必要となっておりまいた。5月には明治用水頭首工漏水事故が発生し、社会インフラの老朽化対策の課題が浮き彫りとなりました。また7月の参議院議員選挙における安倍元総理が銃撃され死亡された事件は世界中に衝撃を与えました。

予想できないこと、思いもよらないことが起こったときこそ政治が問われます。「現地現物」自分の足で歩き、自分の目で見て、自分の耳で聞く。その上で「即断即決」今何が必要かを考え、行動に移す。このことが重要であると改めて肝に銘じた次第です。

今後とも皆様からご付託に応えるため、地域の皆様方の声に耳を傾けてまいりますので、何かお困りごとがありましたら、どんなことでも後援会事務所まで直接連絡いただきますようお願いいたします。

結びに、皆様とご家族様のご健勝とご多幸をお祈りし、挨拶といたします。

## 神谷かずとし

### 県政 レポート



愛知県農政総会と懇談会



愛知 11 区 質詢交歓会



松平体育館完成記念式典



明治用水頭首工現場視察



県民環境委員会



とよた新茶手もみ講習会（豊栄町）



小清水ふれあい朝市（宮口神社）



林業視察（下山）



消防団第3方面隊操法大会

## 会長のご挨拶

残暑の厳しい頃ですが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。コロナ禍も3年目となりコロナウイルスが次々と変異を繰り返したオミクロン「BA.5」は、過去最高の感染者数を記録しております。経済をまわすためにも政府も専門家の分科会も「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」のような行動制限はしないという方針を示しました。その前提としてワクチン接種の拡大、検査・医療体制の強化、基本的感染対策の徹底が重要とされています。明治用水の頭首工漏水事故のニュースは改めて水の大切さとありがたさを今更ながら気づかされた思いがしました。一方、今年も各地で集中豪雨による災害が発生しております。水のありがたさと同時に怖さも常に認識し対策していく必要があります。残暑のみならずコロナ禍中で不自由な日々が続いておりますが、皆様にはくれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。



神谷かずとし後援会 会長  
奥田 清仁

# 矢作新報

## 矢作新報で掲載中のコラムを紹介します

### 木造で統一したまちづくり

「愛知県木材利用促進条例」が新年度から施行されます。この条例に対応した関連事業の一つに、まちづくりにおける木造・木質化の促進として、日本初のみちまを統一的に木造・木質化する計画があります。

具体的には名古屋港区の名古屋競馬場跡地、四月に同競馬場が弥富市に移転するに伴い、約15haの広大な跡地の一部は二〇二六年に開催されるアジア競技大会選手村として利用されますが、大会前に分譲マンション、複合型福祉施設、幼稚園、留学生寮が整備され、大会後に複合商業施設、戸建て住宅、大学、高校、図書館、スポーツ施設が整備される予定です。

このまちは、低層施設は木造、技術面から木造化が困難なものは内装を木質化としていきます。木造・木質化された街の出来上がり。県は開発を担う民間事業者と木材利用促進協定を締結し、財政的支援、技術的助言、木材調達支援をしていきます。使用するのはいずれも県産木材です。今から木材調達の計画が必要となります。

県では今秋オープンするジブリパーク、二〇二六年に移転新築される新体育館はもちろんのこと、県は全ての公共施設の新築・改築の際は木造・木質化するとしています。

木材利用促進先進地である豊田市では二〇〇七年に「森づくり条例」が制定され、二〇一二年の「公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針」により公共施設の木造・木質化は当然となっています。

また県では条例の施行を契機に、P・R効果の高い民間施設等の木造・木質化、木製備品導入への支援を強化すると共に、新規事業として木造化が進んでいない中小企業のオフィスなどの非住宅建築物において、木造で設計・建築する実証調査を行い、木造化におけるコスト、工期等の特性を明確化します。

森林環境譲与税とカーボンニュートラルの追い風に乘って、時代の最先端は木造建築です。



令和4年2月掲載

### 俳優 柳生博さんを偲ぶ

四月二十一日、俳優・柳生博さん(享年八五歳)の訃報がニュースで流れました。心よりご冥福を祈ります。柳生さんと二〇一五年六月に豊田市自然観察の森開設二五周年及び新ネイチャーセンター開館五周年の記念講演でお会いしました。日本野鳥の会会長を務める柳生さんは、東海丘陵湧水湿地群(矢並湿地、上高湿地、恩真寺湿地)をラムサール条約湿地への登録を成し遂げた立役者の一人です。講演では家族で移住した八ヶ岳山麓における森づくりにまつわるエピソードから自然や湿地に対する思いが語られました。このとき、ご長男で八ヶ岳倶楽部代表の園芸家・慎吾氏を咽頭がんで亡くしてわずか一か月のこと。四七歳の若さで先立たれた慎吾さんの生涯を語るとき、会場で涙にむせんだことを思い出します。

講演会の会場となった新ネイチャーセンターは、豊田市自然観察の森開設から二十年目となる二〇一〇年に完成しました。森の景色を眺めることのできるデッキを備えた、どこからでも森に出ている学習拠点です。弓なりのフォルムが変わった形の建築は、自然に溶け込んだ特徴的なデザインで数々の建築賞をいただきました。完成の二年前、建物の設計が発表されたとき、市議会自民クラブ議員団より、環境学習施設ならば、鉄骨造ではなく自然に配慮した木造建築に変更すべきという意見が噴出しました。しかし設計コンペ方式で決まった以上、大幅な設計変更は不可能で、内装等は極力木質化を図ることに落ち着きました。豊田市が公共施設の木造・木質化について、全国でも先進的に取り組むきっかけとなった施設かもしれません。

柳生博さんを偲んで自然観察の森を歩いてみようかと思えます。そして彼が愛してやまなかった矢並湿地、コロナで昨年中止となった一般公開が今年こそ再開されることを祈ります。



令和4年5月掲載

### 今後の後援会行事予定

## 神谷かずとしを囲む 親睦ゴルフ大会

令和4年11月1日(火)  
ロイヤルカントリークラブ下山コース



新型コロナウイルスに伴う状況により、開催中止となる可能性があります

**トピックス**

神谷かずとし ホームページ リニューアル

スマホでも見やすくなりました!

## あとがき

コロナにとって人間は乗り物のようです。私たちが止まればウイルスも止まる。様々な活動を止めなければなりません。その間、ひとつの場所に集いお互いの顔を見ながら同じ時間を過ごす行事が心に沁みてきました。ベストな形でこれからの行事を準備していく事務局に乞うご期待を! 皆様 最幸の時間を使い切ってください!

神谷かずとし後援会事務所  
〒471-0841 豊田市深田町1丁目81番地  
TEL(0565)77-2001 FAX(0565)77-7304

お気軽にお立ち寄りください。